

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	ワンステップスマイル中原教室		
○保護者評価実施期間	2026年 2月 16日		2026年 3月 9日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○従業者評価実施期間	2026年 3月 6日		2026年 3月 14日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 20日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	理学療法士などの専門職による療育プログラム	「身体から発達を変える療育」、「運動を“遊び×発達”に変換できる」、「個別プログラム×集団療育のハイブリッド」	来月より、理学療法士・保育士・作業療法士・養護教諭・心理士の体制となるため、さらなる支援の質の向上に努めます。
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>保護者様への、日常の様子の発信</li> <li>SNSのブログなどを活用し、情報発信をしている</li> <li>家庭の事情や意向に合わせた利用スタイルの提供</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>LINEを活用し、写真や動画の発信を毎日行っている</li> <li>定期的にブログの更新をしている</li> <li>スポット利用や送迎場所の変更などの要望に応じている</li> <li>連絡帳など一部の機能を電子化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>送信枚数や内容の見直し</li> <li>プライバシーに対する配慮の強化</li> <li>さらに満足度を高めるための要望の聞き取り</li> <li>保護者目線の利用しやすさの追及</li> </ul>
3	児童発達支援と放課後等デイサービスを一体的に行っている多機能型事業所であるため、切れ目のない支援を提供できる	児童発達支援から放課後等デイサービスへの移行がスムーズに行えている	利用者(児)にとっては大きな変化であり、精神面・体力面ともにさらなる考慮や対処を検討していく

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域との連携の機会	市や一部の相談支援事業所などとは連携を図っているが、地域住民とのコミュニケーションをとる機会が少ない	日常の中での関りも重要視し、関係を深めていったり情報を共有する方法を検討していく
2	保護者支援体制の体系化	日常の家族支援や、保護者会の企画・実施は行っているが、ペアトレなどの体系的プログラムは実施できていない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>イベントの企画・実施</li> <li>家族支援を活用いただける旨の周知</li> </ul>
3			